

令和元年度進行管理・評価シート

亀山市歴史的風致維持向上計画（平成21年1月19日認定）

（最終変更 令和2年3月31日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1 「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置 1・2

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1 景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定 3

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1 東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠) 4

2 東海道街道環境整備事業(坂下宿) 5

3 東海道街道環境整備事業(太岡寺躰) 6

4 東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚) 7

5 明治天皇行在所整備事業 8

6 亀山城関連施設復原事業 9

7 歴史的風致形成建造物修理事業 10

8 旧田中家住宅保存整備事業 11

9 東海道関宿街道まつり 12

10 玉屋宿泊体験 13

11 亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり) 14

12 亀山薪能 15

④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)

1 歴史文化資産の調査・研究の充実と法令に基づく指定の推進 16

2 保護事業の推進 17・18

3 埋蔵文化財の保護 19

4 文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進 20・21

5 文化財と一体となっている周辺環境の整備 22

6 市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進 23・24

⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5) 25・26

⑥その他(効果等)(様式1-6)

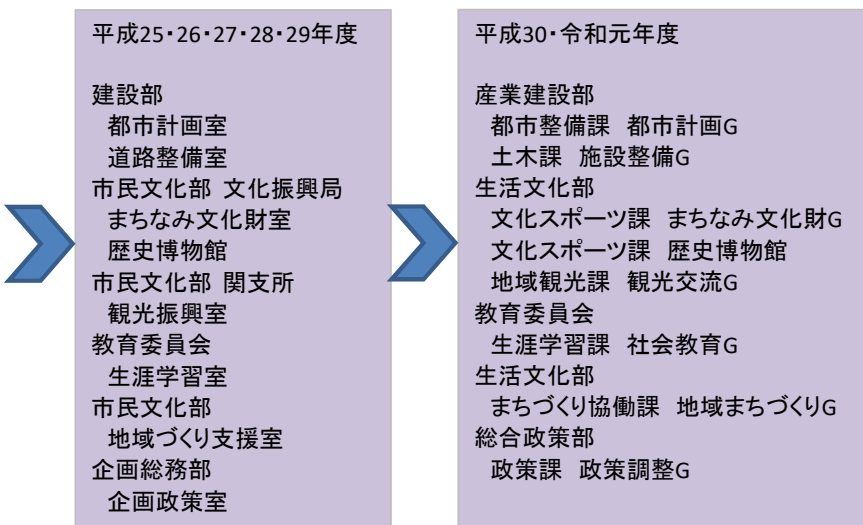
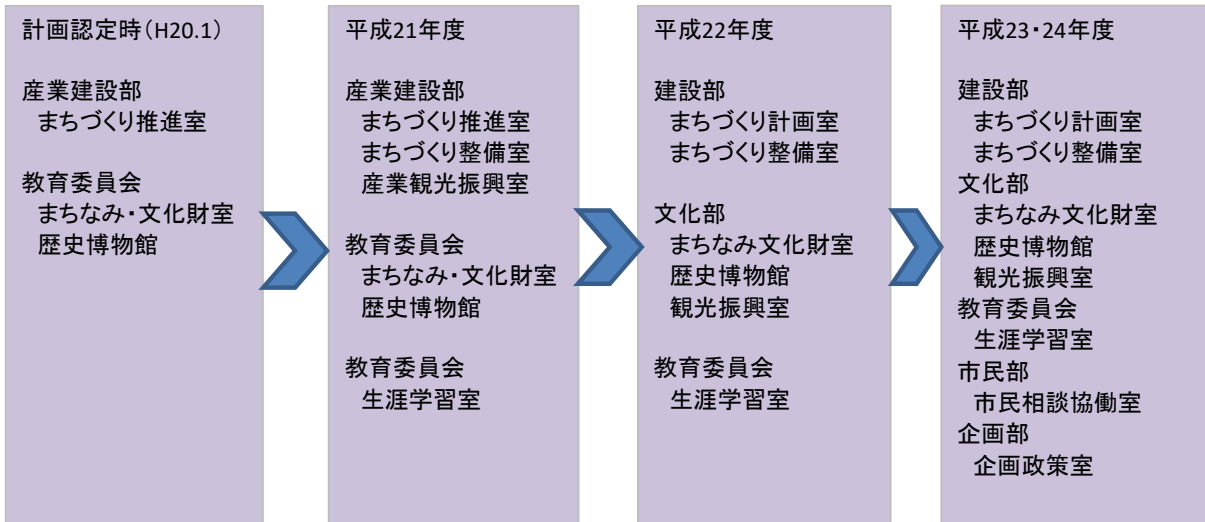
歴史まちづくりの効果 27

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2) 28

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
「亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	全市をあげて歴史的風致の維持向上を図っていくために、「(仮称)亀山市歴史まちづくり事業調整会議」の設置を行い、事業担当部署間の横断的調整及び庁内合意形成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重点区域内で実施される事業については、事業調整担当G(都市整備課都市計画G・文化スポーツ課まちなみ文化財G)と事業実施Gとの間で、事業内容等について個別に調整を進めるとともに、事業調整担当Gで進行管理を行った。 【事業担当室数(累計)】 計画認定時(2室1館)→H21(5室1館)→H22(5室1館)→H23(7室1館)→H24(7室1館)→H25(7室1館)→H26(7室1館)→H27(7室1館)→H28(7室1館)→H29(7室1館)→H30(7G1館)→R1(7G1館) 令和元年度は、担当部署の名称及び数に変化はない。 進行管理・評価については、事業調整担当Gと事業実施Gとの間で協議した後、亀山市歴史的風致維持向上計画協議会において報告し意見聴取した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			

■歴史まちづくりへの全庁的な取り組み(事業担当室の推移)



■ 亀山市歴史まちづくり事業調整会議



【撮影: 令和2年2月12日】

<開催日>

- ・平成31年4月15日(月)
- ・令和元年5月8日(水)
- ・令和元年6月7日(金)
- ・令和元年7月23日(火)
- ・令和元年9月9日(月)
- ・令和元年10月15日(火)
- ・令和元年12月18日(水)
- ・令和2年1月14日(火)
- ・令和2年2月12日(水)

<打合せの概要>

- ・進捗評価について
- ・令和元年度事業の進捗状況について

■ 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会(令和2年2月20日開催)



【撮影: 令和2年2月20日】

<協議会の概要>

・議事

- 亀山市歴史的風致維持向上計画の変更について
- 令和元年度事業報告及び令和元年度進行管理・評価シートについて

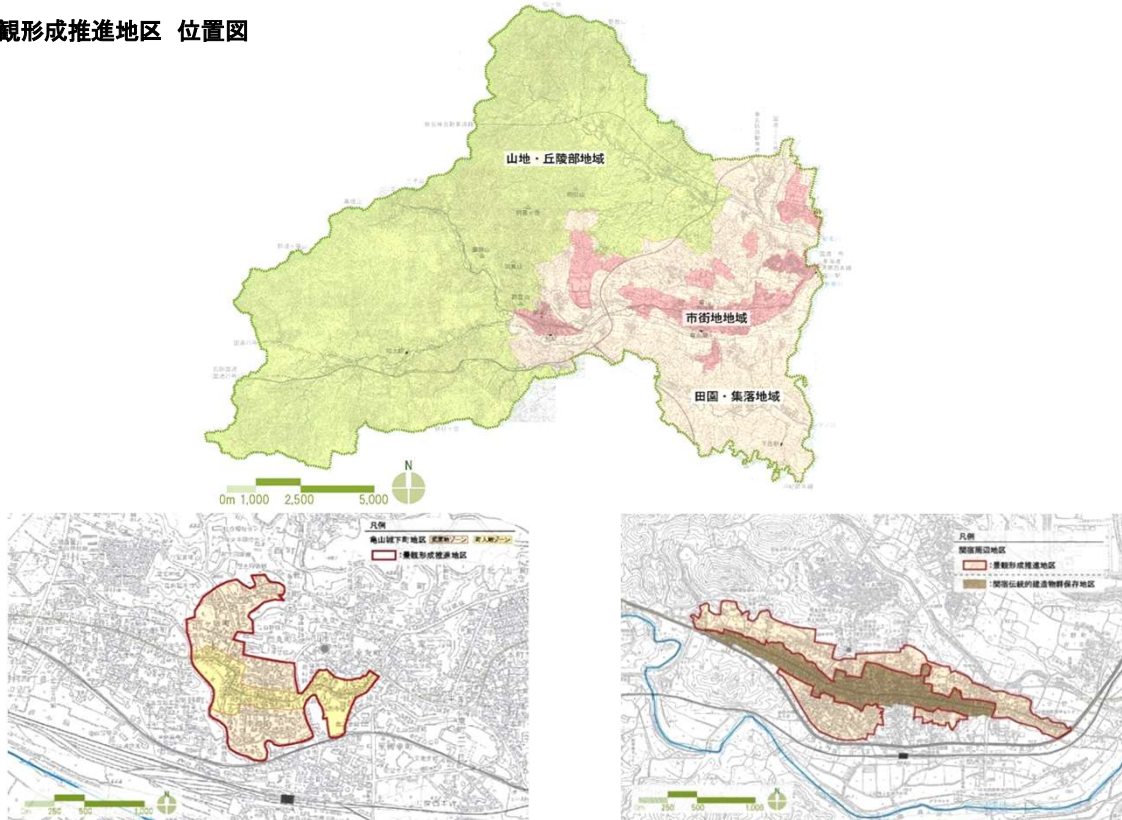
評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
景観行政団体への移行、亀山市景観計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容 本市では、平成23年6月に景観計画を策定し、市域全域を景観計画区域とした。景観計画区域のうち本計画に位置付けている重点区域については、景観形成推進地区及び景観重点地区の候補地とし、より積極的な景観形成基準等を定める地区とし、高さの規制を行う。さらに、景観形成推進地区及び景観重点地区において、良好な景観の形成が特に必要な地区は、地区住民の合意が得られるなどの条件が整い次第、景観地区や高度地区制度を活用する方針である。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成23年9月1日より、亀山市景観計画に基づく届出事務を開始し、景観形成推進地区内では、23年度は4件、24年度は8件、25年度は4件、26年度は7件、27年度は13件、28年度は6件、29年度は17件、30年度は10件、令和元年度は25件の景観届出を審査し、申請者とは意匠形態・色彩について詳細に協議を行った。これら市景観計画による景観誘導のほか、これまで不定期で実施してきた屋外広告物のパトロールを、平成24年4月から毎月実施することとし、良好な景観形成の推進に取り組んだ結果、環境美化が進んだ。また、重点区域内に2箇所指定した景観形成推進地区(亀山城下町、関宿周辺)に対し、景観計画の周知チラシを作成し、広報の配布に合わせ、周辺住民への周知を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし	

状況を示す写真や資料等

■景観形成推進地区 位置図



亀山城下町景観形成推進地区(上記地図の拡大)

関宿周辺景観形成推進地区(上記地図の拡大)



【広報周知:令和元年6月1日号】

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
東海道街道環境整備事業(鈴鹿峠)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 東海道上の鈴鹿峠において、峠の茶屋跡・峠道など関連する遺跡を保存整備するとともに、案内標識・ベンチ・東屋等を設置して街道環境を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行ったが、令和元年度中に整備方針が定まらなかったことから、街道環境の整備に至らなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度に整備方針を含めた上で、歴史的風致維持向上計画(第2期)を策定し、令和3年度以降に事業を実施する。 状況を示す写真や資料等

■鈴鹿峠状況



評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
----	--------	----------------

東海道街道環境整備事業(坂下宿)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 東海道上の坂下宿において、路面を美装化、案内標識・ベンチ・東屋を設置して街道環境を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行ったが、令和元年度中に整備方針が定まらなかったことから、街道環境の整備に至らなかった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

令和2年度に整備方針を含めた上で、歴史的風致維持向上計画(第2期)を策定し、令和3年度以降に事業を実施する。

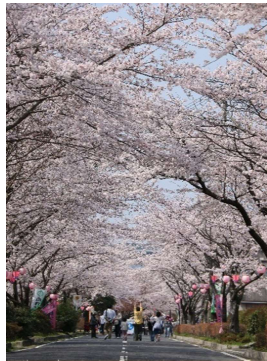
状況を示す写真や資料等

■坂下宿状況



評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
東海道街道環境整備事業(太岡寺駅)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の太岡寺駅において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋・植栽を設置し、街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
太岡寺駅全体整備延長約800mの内、歩道整備に係る盛土、法面整備工事を平成26年度は200m、平成27年度は240m、平成28年度に230m、平成29年度に145m、平成30年度に346m行った(実施:国土交通省及び亀山市)。 また、平成26年度に桜9本、平成27年度に桜10本、平成28年度に桜14本、平成29年度に桜38本を植樹した。 さらに、地域住民による桜まつり等のイベント活動が6年連続で行われ、地域住民と散策者との交流が促進された。 しかしながら、旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行ったが、令和元年度中に整備方針が定まらなかったことから、美装化等の街道環境の整備に至らなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度に整備方針を含めた上で、歴史的風致維持向上計画(第2期)を策定し、令和3年度以降に事業を実施する。		
状況を示す写真や資料等			

■地域コミュニティによる活動状況



神辺地区コミュニティによる桜まつりの実施 平成31年4月7日実施【撮影:平成31年4月】

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
東海道街道環境整備事業(野村集落～野村一里塚)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成26年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	東海道上の野村集落において、路面を美装化するとともに、案内標識・ベンチ・東屋を設置し、街道環境を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧東海道全体の周辺環境等に調和した整備方針について、市関係部局で検討会を立ち上げ、検討を行ったが、令和元年度中に整備方針が定まらなかったことから、街道環境の整備に至らなかった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度に整備方針を含めた上で、歴史的風致維持向上計画(第2期)を策定し、令和3年度以降に事業を実施する。		
状況を示す写真や資料等			

■野村一里塚状況



■野村集落状況



評価軸③-5 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
明治天皇行在所整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成24年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	「明治天皇行在所」(歴史的風致形成建造物指定予定)を復原・修理(耐震化を含む)する。当該建造物については、数度の移築がされた経緯、「心形刀流」の伝承活動に使用されている点、周辺の文化財及び回遊路などの整備状況を考慮して、保存・活用に適した場所への移築を検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成23年度に旧亀山城多門櫓保存整備事業における石垣工事に伴い明治天皇行在所を移設し、見学者用広場が創出された。 明治天皇行在所の復原修理については、他の事業を優先的に行うため事業を延期することとなった。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	第2期計画において事業を実施予定である。		
状況を示す写真や資料等			
			
			
【撮影:平成22年10月】		【撮影:平成23年6月6日】移設後	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
亀山城関連施設復原事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
	事業期間	平成21年度～令和2年度
	支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧亀山城内(亀山公園)、及び東海上の、亀山城に関連する「亀山城本丸三重櫓」、「京口門」、「外堀」(歴史的風致形成建造物指定予定)等について、文化財調査に基づき復原・遺構復原展示を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

他の事業を優先的にいき、事業を延期することとなった。

(参考実績)

- ・平成22年度に外堀復元展示を実施
- ・平成27年度に旧佐野家住宅改修整備

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

第2期計画において事業を実施予定である。

状況を示す写真や資料等



■京口門と京口坂(古写真)



■京口門周辺の現況

亀山城京口門は、亀山城の西の入り口に当たり、東海上にあった。安藤広重の「東海道五十三次」浮世絵に描かれた亀山宿の風景は(「雪晴」)は、雪の日に京口門に向かう坂道を登る大名行列を描いたものである。現在櫓などは取り壊されており、坂の部分には樹木が生い茂っており、さらに隣接して道路橋がかけられている。今後、京口門周辺の坂道などを、東海道に関連する周遊路として整備するとともに、周辺の街路の美装化等を進める。



■亀山城二ノ丸帯曲輪

亀山城二ノ丸帯曲輪は、隣接する亀山西小学校改築に伴う発掘調査により、その遺構が確認され、土居及び土堀の一部が復原された。しかし、残る土堀・埋門については、遺構を保存し、建造物の復原を行っておらず、今後実施していく。

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	

歴史的風致形成建造物修理事業

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容

民間所有の歴史的風致形成建造物に指定した建造物について、その修理に対し補助金を交付する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は実績なし
(参考実績)

- ・片山神社 石段、石積、山門、鳥居、燈籠等の復原修理に補助金を交付
- ・福泉寺山門 平成27年度に調査設計、H29年度(H28年度繰越)に修理工事に補助金を交付

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■市史跡「片山神社」境内の復原整備工事



■工事着工前【撮影:平成26年12月】



■工事完了【撮影:平成27年3月】

■市指定文化財「福泉寺山門」修理工事



■工事着工前【撮影:平成29年7月】



■工事完成【撮影:平成30年3月】

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
旧田中家住宅保存整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	「旧田中家住宅」(歴史的風致形成建造物指定予定)を公開施設として整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和元年度には土蔵・文庫蔵の修理設計と土蔵の修理工事の一部を実施した。土蔵の修理工事については建起こし等の木工事を行った後、荒壁をつけるまでの工程を予定通り完了している。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度には土蔵の修理工事を継続するとともに、文庫蔵の修理工事をあわせて行う予定である。		
状況を示す写真や資料等			

■旧田中家住宅土蔵



■工事着工前【撮影：平成31年4月】



■現在工事中【撮影：令和元年11月】

評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
東海道関宿街道まつり		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 昭和61年度～			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容 「関の山車」巡行。お囃子の発表。引き返しへの一般市民の参加。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・街道まつりで「関の山車」巡行等を行い、お囃子等の保存伝承活動を行った。 ・街道まつりへの参加来場者数：13,000人 ・伊勢亀山藩石川家大名行列の再現を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		特になし	
状況を示す写真や資料等			

■東海道関宿街道まつり



「関の山車」巡行【撮影：令和元年11月】



伊勢亀山藩石川家大名行列再現【撮影：令和元年11月】

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
----	--------	----------------

玉屋宿泊体験

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成9年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区・関宿内にある関宿旅籠玉屋歴史資料館(市指定文化財建造物)において、小学校高学年を対象とした宿泊体験学習会。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市指定文化財建造物を会場として利用し、関宿のまちなみについて学習することにより、昔の人々の暮らしを理解し、参加した子どもたちの文化財保護意識の向上に資することができた。

主催: 亀山市子ども会育成者連絡協議会

参加者数: 28名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし

状況を示す写真や資料等

■玉屋宿泊体験



かまど体験【撮影: 令和元年8月】



朗読【撮影: 令和元年8月】

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
----	--------	----------------

亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)

- 実施済
- 実施中
- 未着手

事業期間 平成4年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統文化の発表「葛葉太鼓」(葛葉太鼓保存会)、「灯おどり」(灯おどり保存会)

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・納涼大会への参加来場者数: 12,000人
 ・多くの人々の前で演奏したり、市民が多数参加することにより、地域の伝統芸能を周知することができただけでなく、新たな担い手の育成が図られ、各保存会の活性化につながった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

特になし

状況を示す写真や資料等

■亀山市納涼大会(葛葉太鼓、灯おどり)



葛葉太鼓(葛葉太鼓保存会)【撮影:令和元年8月】



灯おどり(灯おどり保存会、市民総おどり)【撮影:令和元年8月】

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
亀山薪能	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
	事業期間	平成4年度～
	支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 亀山城多門櫓(県指定史跡)を背景とした薪能の開催

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和元年度は開催年でないので実績なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年度は市制施行15周年記念事業としての開催を予定

状況を示す写真や資料等

■亀山薪能

開催日:平成27年8月29日



薪能【撮影:平成27年8月】



薪能【撮影:平成27年8月】

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史文化資産の調査・研究の充実と法令に基づく指定の推進			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	地域の貴重な歴史文化資産を発見し適切に保護できるよう、文化財の調査・研究の充実につとめ、特に重要な歴史文化資産については、法令にもとづく文化財としての指定を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・重点区域内において、文化財の指定を進めた。指定等にはいたっていないが調査(1件)を行っている。 【重点区域内における文化財指定等された歴史的建造物の数】 H20:国登録(1件)・県指定(1件)・市指定(8件)→H21:国登録1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(8件)→H22:変更なし→H23:変更なし→H24:市指定1件追加、国登録(2件)・県指定(1件)・市指定(9件)→H25:変更なし→H26:県指定(1件)→H27:県指定(1件)→H28:市指定(2件)→H29:国登録(1件)・県指定(1件)→H30:変更なし→R1:変更なし			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			



国登録有形文化財 福德公民館
 (旧明村立明小学校福德分校)
 【撮影：平成29年8月】



三重県指定有形文化財(建造物) 宗徳寺層塔

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
保護事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	歴史文化資産を適切に管理し、また積極的に保存・活用を図るためには、必要に応じて保護事業を進める必要がある(維持・管理、修理・修復、公有化等、防災)。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
歴史まちづくり事業と連携して、文化財を適切に保存・活用するための事業を実施した。 ・文化財の修理等に対する支援:市指定有形民俗文化財「山車」(中町三番町、北裏)の修理。 ・平成29年に国登録有形文化財となった福德公民館(旧明村立明小学校福德分校)において、令和2年1月26日に文化財防火デー消防訓練を実施した。 ・文化財防火デーにあわせて、有形文化財所有者及び管理者に対し、文書で火災についての注意喚起と防火活動の啓発を行った。 ・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各部署に事業照会し文化財保護協議を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			

■文化財の修理等に対する支援

- 文化財保護事業 北裏自治会
 - ・山車用具新調



■山車用提灯新調
【撮影: 令和元年6月】



■山車用提灯新調
【撮影: 令和元年6月】

- 文化財保護事業 北裏自治会
 - ・北裏山車修理



■北裏山車の車軸破損状況
【撮影: 令和元年10月】



■北裏山車の車軸破損状況
【撮影: 令和元年10月】

- 文化財保護事業 中町三番町自治会
 - ・中町三番町山車修理



■中町三番町山車の車軸破損状況
【撮影: 令和元年10月】



■中町三番町山車の車軸破損状況
【撮影: 令和元年10月】

■文化財防災のための訓練



文化財防火デー消防訓練
平成29年に国登録有形文化財となった福德公民館（旧明村立明小学校福德分校）において、令和2年1月26日に実施した。

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
埋蔵文化財の保護			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	<p>市内における周知の埋蔵文化財包蔵地は、旧亀山市域で357遺跡、旧関町域で47遺跡あったが、平成17～20年度で、国庫補助事業により旧関町域において遺跡詳細分布調査事業を実施し、50遺跡を追加して454遺跡となった。</p> <p>旧関町域については、近世の遺跡を含む周知の埋蔵文化財包蔵地の把握を行ったところであるが、旧亀山市域については近世の遺跡は「亀山城跡」など一部を把握するにとどまっており、今後現地踏査、文献史料調査等により確認を進め追加していく。</p> <p>また、文化財の保存・活用に当たっては、当該文化財が所在する地点の埋蔵文化財の状況を把握した上で、その保護に十分留意するものとする。このことは、当該文化財の周辺に所在する、時代や性格等の上で一連の遺跡についても同様とする。</p> <p>開発行為にあたっては、周知の埋蔵文化財包蔵地については試掘調査を実施したうえで、必要に応じて発掘調査を実施する。また、周知の埋蔵文化財包蔵地以外についても、開発担当部局、及び事業者との事前協議を実施し、必要に応じて試掘調査を行うなど、開発行為と文化財保護との整合につとめる。協議にあたっては、三重県教育委員会との連絡調整を図るとともに、必要な指導を受ける。</p> <p>なお、市内における周知の埋蔵文化財包蔵地については、各事業に関連した位置図中に示した。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・埋蔵文化財の保護として、平成18年度から継続して鈴鹿関跡範囲確認調査(発掘調査・現地測量調査)を実施している。平成26年度までの調査成果をまとめた調査報告書を平成27年度に作成・刊行した。平成30年度・令和元年度は発掘調査を行い築地塀の痕跡と考えられる瓦溜まりを確認した。引き続き、鈴鹿関跡の学術的価値を明らかにするために発掘調査や現地地形測量調査等を行う。これらの調査の成果をもって、国史跡指定を目指す。</p> <p>現地測量調査面積：H18年度3,800㎡・H19年度6,000㎡・H21年度4,300㎡・H22年度5,200㎡・H23年度5,200㎡・H24年度9,000㎡・H25年度6,000㎡・H26年度6,000㎡・H28年度1,000㎡・H29年度400㎡・H30実績なし・令和元年度実績なし</p> <p>・市公共事業に対する文化財保護として、市関係各課に事業照会し文化財保護協議を実施。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	鈴鹿関西外郭線の範囲についてはほぼ確定してきた。西外郭線の一部については国史跡指定に向けての申請を行いました。		
状況を示す写真や資料等			
<p>■埋蔵文化財の保護</p> <p>埋蔵文化財(鈴鹿関跡)発掘調査</p>			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
鈴鹿関跡発掘調査状況【亀山市関町新所、撮影：令和2年1月】			

評価軸④-4 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的な把握による普及・啓発の推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	有形・無形の文化財を、歴史的関連性や地域的関連性などに基づいて、相互に関連性のある一定のまとまり（「関連文化財群」）としてとらえ、これらをつなぐ物語を創造する。これにより、より多くの人々が文化財の価値に気づき、資産として活用しやすくする。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の価値を再認識するため、文化財を活用した普及啓発活動を行った。 ・歴史博物館による市内小中学校等への出前展示等：計14校 ・旧亀山城多門櫓周辺の文化財説明会を開催：随時			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	特になし		
状況を示す写真や資料等			

■歴史博物館による市内小中学校及び地域への出前展示等



亀山市立亀山西小学校
4年生 出前授業
【撮影：平成31年4月25日】



亀山市立井田川小学校
4年生 出前授業
【撮影：令和元年6月13日】



亀山市立亀山西小学校
4年生 出前授業
【撮影：令和元年7月3日】



亀山市立関小学校
4年生 出前授業
【撮影：令和元年7月4日】



亀山市立亀山南小学校
6年生 出前授業
【撮影：令和元年7月17日】



亀山高校
3年生 出前授業
【撮影：令和元年9月27日】



亀山市立亀山東小学校
6年生 出前授業
【撮影：令和元年10月3日】



亀山市立亀山西小学校
3年生 出前授業
【撮影：令和元年10月18日】



亀山市立井田川小学校
6年生 出前授業
【撮影：令和元年10月25日】



亀山市立井田川小学校
出前授業
【撮影：令和元年11月15日】



亀山市立亀山東小学校
6年生 出前授業
【撮影：令和元年11月28日】



亀山市立亀山西小学校
5年生 出前授業
【撮影：令和元年12月5日】



亀山市立井田川小学校
3年生 出前授業
【撮影：令和2年1月23日】



亀山市立亀山西小学校
4年生 出前授業
【撮影：令和2年2月14日】

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
文化財と一体となっている周辺環境の整備	<input type="checkbox"/> 実施済	
	<input checked="" type="checkbox"/> 実施中	
	<input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 関連文化財群により、文化財等が一定の範囲に集中する場合には、文化財等と一体となって価値を成す周辺の環境まで含め、亀山市景観計画を通じ、文化財の周辺環境の保全を図る。見学者の利便とともに地域住民との交流が行えるよう、適切な場所を選んで駐車場や案内板・説明板、トイレ等を整備する。また、文化財がよりよく望むことができる眺望のポイントの整備や、文化財の周囲における官民両空間における景観整備などにより、文化財が周辺の環境と一体となっていることが意識されるよう努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市指定史跡文化財に説明板を設置(1ヶ所)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	これまでの事業で、歴史的風致拠点整備が完了しつつある状況である。今後は、それらを結ぶ面的な整備計画に取り掛かりたい。

状況を示す写真や資料等

■文化財説明看板設置

・法安寺庫裏の玄関(旧松屋本陣門)



■工事着工前【撮影：令和2年1月】



■工事完成【撮影：令和2年3月】

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
市民・地域の参画による文化財を核としたまちづくりの推進		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の保存及び活用は、人々に文化財と触れる「きっかけ」や、文化財に関わる様々な活動の契機を提供することとなる。文化財の保存と活用を進めることにより、市民が文化財に触れる機会を充実するとともに、市民が文化財を核とした地域のまちづくり活動に参加することができるよう、施策の展開を図っていく。また、文化財に触れる機会や、文化財を核としたまちづくり活動を介して、人々の交流が進められるよう積極的な施策の展開を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財を核とした様々なまちづくり活動を実施した。 ◆市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント等の開催。 ・地元住民が中心となって旧館家住宅と旧木村邸でひな飾りを展示した。開催期間:令和2年2月15日～3月7日 来場者数:旧館家 1,466名 旧木村邸 3,887名 ◆重点区域内での様々なまちづくり活動の波及効果として、重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動が行われている。 ・峯城跡(県指定史跡)保存会活動。 ・金王道ウォーキング。開催日:令和元年5月19日 参加者:40名			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		特になし	
状況を示す写真や資料等			
●市民・地域が中心となった歴史的建造物を活用したイベント			
■東海道のおひなさま(亀山市観光協会主催)			
			
旧館家住宅(市指定建造物・歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となってひな飾りを展示した。【撮影:令和2年2月】		旧木村邸(歴史的風致形成建造物)でのひなまつり。地元市民が中心となって雛飾りを展示した。【撮影:令和2年2月】	
●重点区域外で文化財を核としたまちづくり活動			
■峯城跡保存会活動(峯城保存会)			
			
峯城跡の地元住民が自主的に『峯城保存会』を立ち上げ、城跡への道の草刈りや城内の雑木の間伐を実施するなどして、峯城跡の歴史的環境の整備をできる範囲で実施。 【撮影:令和元年10月】			

■金王道ウォーキング(金王道ウォーキング実行委員会主催)



第25回金王道ウォーキング【撮影：令和元年5月19日】

亀山市南部の昼生地区に残る、伝説の武将「渋谷金丸」が通ったと言われる道『金王道』を歴史ロマンに彩られた隠れ古道として顕彰し、後世に伝えるとともに昼生地区のまちづくり事業の一つとして、初夏と秋にウォーキングを実施した。

評価軸⑤-1 効果・影響等に関する報道		
	評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
亀山 満開の桜楽しむ 太岡寺囃しに大勢の人出 三重	平成31年4月8日	伊勢新聞
亀山「春まつり」試験的に開催 復活目指し、関観音山で 三重	平成31年4月14日	伊勢新聞
亀山 トリエンナーレに向けプレ企画 若手芸術家に参加呼び掛け 三重	平成31年4月14日	伊勢新聞
亀山 江戸末期の古民家で音楽会 春の歌や津軽じょんがら節披露 三重	平成31年4月14日	伊勢新聞
印刷の歴史ひも解く 亀山市博物館 奈良期製本や明治の活版展示 三重	平成31年4月23日	伊勢新聞
春の星座、二重星きれいに見えた 亀山で星空観察会に120人	平成31年4月29日	伊勢新聞
元号改元記念「柴燈大護摩祈禱祭」素足で火渡り 亀山の不動院	令和元年5月1日	伊勢新聞
亀山 シャクナゲ色鮮やか 観音山公園で満開 三重	令和元年5月3日	伊勢新聞
企画展 印刷の貴重な資料紹介 奈良時代經典も 亀山市歴史博物館で来月9日まで	令和元年5月3日	毎日新聞
旅の思い出、武将気分 亀山の関宿で甲冑着用体験	令和元年5月6日	伊勢新聞
亀山 印刷技術の歴史テーマに 歴史博物館で企画展講座 三重	令和元年6月3日	伊勢新聞
ハナショウブ咲き始める 亀山公園で1万2000株 三重	令和元年6月6日	伊勢新聞
運動会で「田村かんど踊り」 亀山・川崎小 200年の伝統芸能、復活願ひ 三重	令和元年6月17日	伊勢新聞
「関の山車」魅力語る 亀山でワンコインゼミ 保存会「守り伝える」 三重	令和元年6月25日	伊勢新聞
亀山 関宿に新たな観光名所「関の山車会館」来月オープン 三重	令和元年6月28日	伊勢新聞
関宿の魅力満載 亀山に新しい観光拠点	令和元年7月5日	朝日新聞
「関の山車会館」オープン 亀山で記念式典、市長ら祝う 三重	令和元年7月7日	伊勢新聞
亀山に「関の山車会館」オープン 関宿の歴史を発信	令和元年7月7日	中日新聞
山車4基、一斉に舞台回し 亀山で「関宿祇園夏まつり」 三重	令和元年7月22日	伊勢新聞
迫力の山車、見応えパッチリ 亀山で関宿祇園夏まつり	令和元年7月23日	中日新聞
JR西日本 関西線「加太駅駅舎」譲渡へ 築83年、亀山市が観光資源に	令和元年7月24日	毎日新聞
加太駅舎を歴史観光資源に 亀山市が改修・活用へ	令和元年7月26日	朝日新聞
JR西日本から加太駅舎無償譲渡 地域活性化拠点に 亀山市	令和元年7月27日	伊勢新聞
亀山列車銃撃事件から74年 無念さ伝える説明板設置 三重	令和元年8月3日	伊勢新聞
亀山 灯おどりで一夜満喫 夏の風物詩「納涼大会」 三重	令和元年8月5日	伊勢新聞
遊び通じて英会話 亀山市教委 児童らディキャンプ 三重	令和元年8月9日	伊勢新聞
亀山・鈴鹿峠自然の家 寝転がり星空観察 三重	令和元年8月14日	伊勢新聞
亀山 夏の夜空彩る 関宿火花、1万3000人歓声 三重	令和元年8月19日	伊勢新聞
亀山「関宿」で宿泊体験 うどん作りや散策 高学年児童28人が参加 三重	令和元年8月26日	伊勢新聞
亀山 きょうから竹久夢二展 オリジナル木版など10点 三重	令和元年9月2日	伊勢新聞
亀山 子ども神輿が完成 宮大工の宮崎さん、子ども会から依頼 三重	令和元年9月4日	伊勢新聞
亀山 心形刀流武芸形を披露 心の修養を第一に精進 三重	令和元年9月10日	伊勢新聞
来秋の亀山トリエンナーレ向け企画展 三重	令和元年9月16日	伊勢新聞
亀山 彩るアートの世界 トリエンナーレプレ企画	令和元年9月16日	朝日新聞
自生する薬草観察 鈴鹿亀山薬剤師会 観音山周辺で市民ら 三重	令和元年9月30日	伊勢新聞
「坂本棚田」、真っ赤に 亀山でヒガンバナ見頃 三重	令和元年10月3日	伊勢新聞
亀山 能褒野神社で秋季大祭「豊稔の舞」奉納 三重	令和元年10月9日	伊勢新聞
亀山トリエンナーレ向け下見 若手作家ら、出展会場45カ所 三重	令和元年10月20日	伊勢新聞
亀山の街、アートで彩りたい 来年10月にトリエンナーレ	令和元年10月22日	中日新聞
大名行列や花魁道中、山車巡行も 亀山で関宿街道まつり	令和元年11月4日	伊勢新聞
武士は明治をどう乗り切ったか 亀山市歴史博物館が企画展 士族の生き方紹介 三重	令和元年11月5日	伊勢新聞
来秋「亀山トリエンナーレ」プレ企画 詩の朗読と音楽共演 三重	令和元年11月25日	伊勢新聞
関宿で古民家を土産物店に 県内の品集め、15日開店	令和元年12月14日	中日新聞
亀山 三重の品充実、関宿に土産店 古民家改装、きょう開店	令和元年12月15日	伊勢新聞
亀山 昔ながらの餅つき楽しむ 外国人ら体験 三重	令和元年12月16日	伊勢新聞
亀山の慈恩寺で消防訓練 国重文「木造阿弥陀如来立像」守れ 三重	令和2年1月29日	伊勢新聞
亀山 技能実習生ら、ひな飾り手伝う 来月7日にイベント 三重	令和2年2月12日	伊勢新聞
亀山の「太岡寺囃さくらまつり」中止 三重・新型コロナウイルス	令和2年3月15日	伊勢新聞

歴史まちづくり事業において整備した関の山車会館がオープンしたことや歴史まちづくり事業において整備した施設におけるイベントが新聞等で報道された。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

特になし

状況を示す写真や資料等



評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 | 令和元年度

項目

歴史まちづくりの効果

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移

亀山城多門櫓を軸とし、亀山城周辺の施設等の面的な整備を行ったことにより、公開施設の回遊性が向上し、来場者数の増加に繋がった。平成29年度はトリエンナーレの影響で来場者数が増えたが、平成30年度は例年並みとなった。

・住民意識の向上(アンケート結果による)

町並み保存に対する住民意識と観光地の魅力・観光施設の整備満足度についてはほぼ横ばいである。

進捗状況 ※計画年次との対応

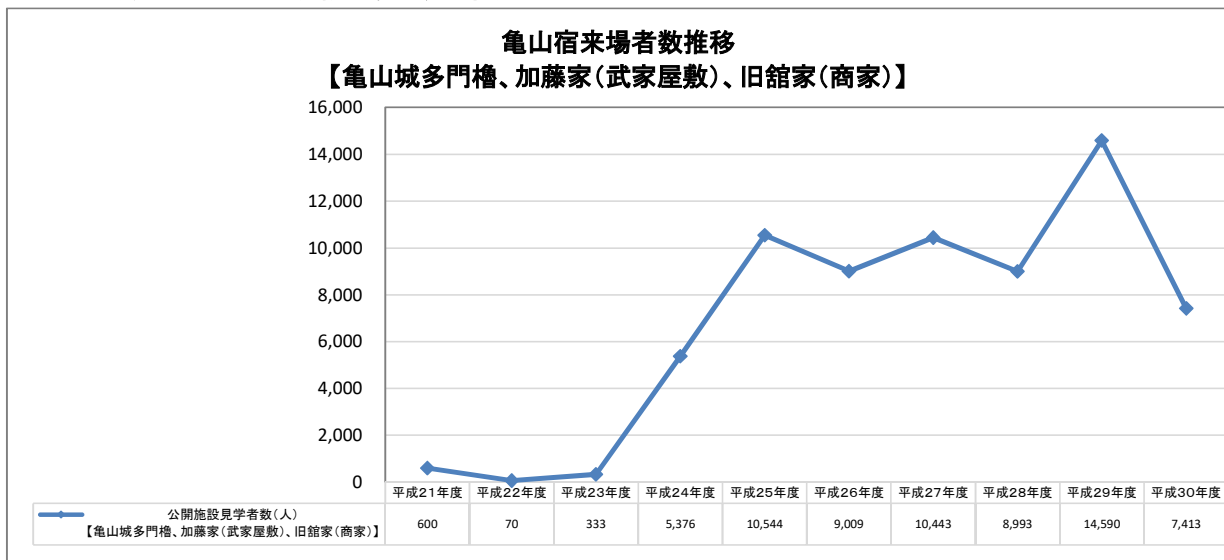
実施にあたっての課題(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

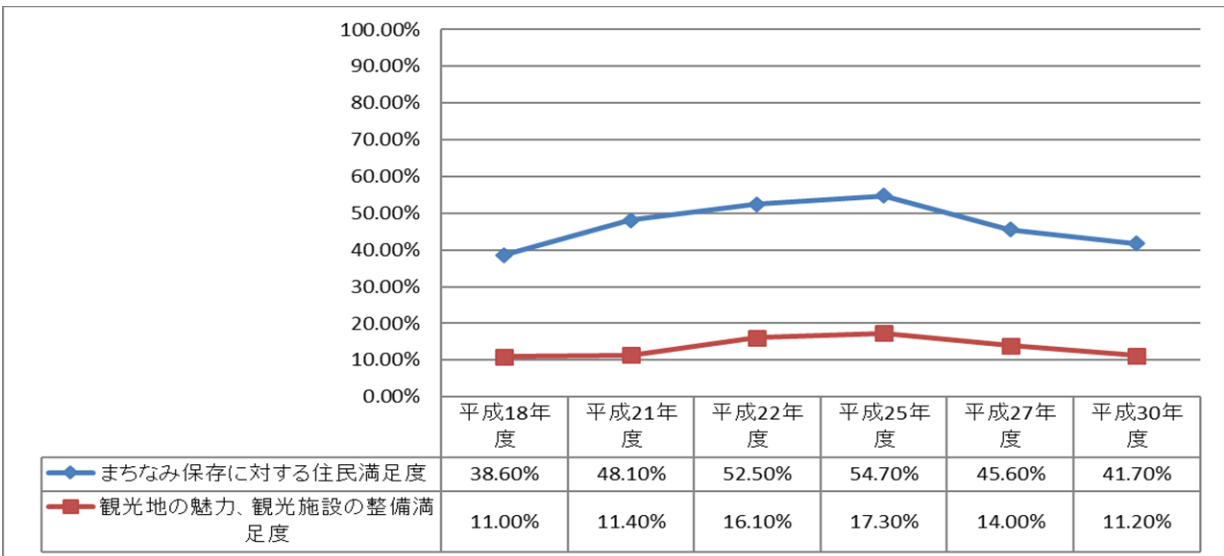
特になし

状況を示す写真や資料等

■亀山城周辺歴史的公開施設来場者数の推移



■住民意識の向上(アンケート結果による)



評価対象年度		令和元年度
・法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称: 亀山市歴史的風致維持向上計画協議会		
会議等の開催日時: 令和2年2月20日		
(コメントの概要)		
<p>●協議会議事</p> <p>(1)歴史的風致維持向上計画の軽微な変更について</p> <p>(2)歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価について</p> <p>(全体意見)</p> <p>・これまで山車会館や多門櫓などのハード系の整備については、計画を活用し上手く進めることができている。</p> <p>・トリエンナーレや施設を公開した年などは、入れ込み客が増加するが、次の年は少なくなるという一過性のピークを作るのではなく、今後はそれらを活用し、市民の歴史文化の意識が醸成していくよう努力されたい。</p> <p>(個別意見)</p> <p>・旧田中家住宅については、工事完成後、有効活用できるよう方向性を検討いただきたい。</p> <p>・整備済みの歴史的建造物等の公開、活用や地域の連携を図られたい。</p>		
(今後の対応方針)		
<p>・整備済み及び整備中の施設について、市民や地域を巻き込んだ活用や公開を実施することで、更なる市民の歴史文化への意識が向上するよう努めたい。</p>		